

震災メモリアル公園基本計画(案)に係るパブリックコメントの結果といただいたご意見・ご提言に対する名取市の考え方

名取市では、震災メモリアル公園基本計画(案)について、平成28年3月1日から平成28年3月25日までの間において、ホームページ等を通じ、みなさまのご意見等を募集したところ、4名の方から合計4件の貴重なご意見・ご提言をいただきました。

いただきましたご意見等につきましては、「震災メモリアル公園基本計画(案)」策定の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

平成28年6月17日

No.	ご意見・ご提言の内容(要旨)	市の考え方
1	閑上地区にある笹かまぼこ屋さんの建物を残すべきでは。	本市としては、平成26年度に震災遺構として保存に取り組むべく方針を示しましたが、様々な意見を検討した結果、震災メモリアル公園内への保存を断念いたしました。

2	<p>地域共生の考えを持って、今まで見たことのない未来へ輝く公園をつくってほしい。閑上の貞山堀を復興のシンボルとして表現すれば、空港も近いので、観光客も訪れるのではないか。ジョギングコースを設ける等、人を魅了するアイデアを期待する。</p>	<p>本公園は、震災の教訓継承と未来に向かい地域活力の源となる空間としての整備をコンセプトに公募市民によるワークショップで検討していただいたものです。想いのある市民の方々のアイデアが反映された計画と考えておりますが、ご意見につきましては、詳細設計を行う中で参考とさせていただきます。</p>
3	<p>イベント等を行う開放空間を作るべきでは。具体的にはステージや座席、震災時の状況を伝える場所等を検討して、イベントを開催すべき。</p>	<p>イベント等を行う空間は、日和山東側の「伝承の広場」の利用を想定しているものです。 なお、いただきましたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
4	<p>閑上寄り添いお地蔵さんについては、市の復興計画が進む中で、換地した場所への移転が必要となっているが、地域住民だけではなく、遠方から閑上に訪れる多くの方々に手を合わせていただいていることもあり、メモリアル公園内への移設のほうがよいのではないかと考える。政教分離の問題もあるが、古来日本人の心の拠り所となっている経緯や閑上3丁目にあった震災前からのお地蔵様と閑上の住民の結びつきを考えると、この寄り添いお地蔵さんを多くの方が気軽に触れ合え手を合わせられる場所へ設置していただくことを、強く希望する。</p>	<p>当公園については、公募市民の参画によるワークショップを経て計画されているメモリアル公園基本計画(案)に基づく施設です。今回の件に関しましては、ワークショップにおいて意見が出なかったこともあり、現時点では、基本計画(案)に提案された以外の、機能の移転や寄贈等による新しい機能を持つ施設を敷地内に設置する予定はありません。</p>